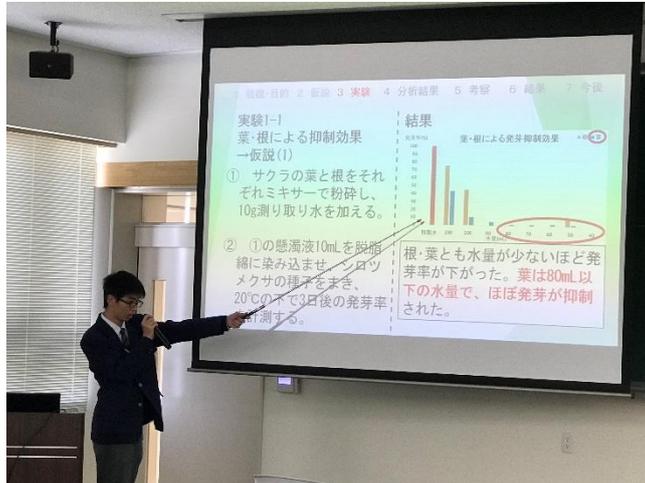




「平成30年度九州高等学校生徒理科研究発表大会」で「優秀賞」(2位)を受賞しました

2月2日(土)、3日(日)に、「平成30年度九州高等学校生徒理科研究発表大会」が、佐賀大学を会場として開催されました。これは、九州各県で選出された高等学校理科部・理科クラブ等の代表生徒が、日頃の活動や研究内容の成果を発表する大会です。



佐賀県代表として、科学部2年生の西耕史君、1年生の瀬戸口智暉君、中島龍星君、舘川昭光君、土橋周平君、高丸佑月さん、江崎太陽君が、生物部門で「サクラの葉による発芽・成長抑制」の口頭発表とポスター発表を行い、口頭発表で2位にあたる「優秀賞」を受賞しました。

佐賀県代表として出場が決定している、8月開催の「第43回全国高等学校総合文化祭自然科学部門」でも活躍を期待しています。

「エリアスタディおよび Jr. 課題研究全体発表会」が開催されました



「エリアスタディ」発表テーマ
中学1年生
・外国人に聞いた！SAGAの魅力
・なぜ佐賀県は肝臓がん死亡率ワースト1でそれを抜け出せないのか
・「吉野ヶ里遺跡邪馬台国説」について
中学2年生
・外国人観光客と日本の歴史
・ロボット空港から見るAI社会
・日本の事故死者数が減っている理由

「Jr. 課題研究」発表テーマ
中学3年生
サイエンス
・最短距離を数学する
・災害復興から考える間違い探し
・致遠館の総面積を求める
グローバル
・発展途上国と先進国の差をなくすには
・AIを介護や教育に導入して負担を減らすには

2月8日(金)に、中学校体育館で、中学1・2年生の総合的な学習の時間「エリアスタディ」および中学3年生の総合的な学習の時間「Jr.課題研究」の全体発表会が実施されました。各学年の代表11組が、1年間の学習活動の成果をそれぞれ口頭発表しました。

「エリアスタディ」については、校外の方へのインタビューやアンケート調査、教科書にも記載がない今日的な課題についてのインターネットや書籍による調べ学習、相手に分かってもらいやすいパワポ資料作成など、いろいろな工夫が見られました。「エリアスタディ」で身に付けたそれぞれのスキルを「Jr.課題研究」に活用して欲しいと思います。

「Jr.課題研究」については、これらのスキルの活用に加えて、自分達で設定した仮説を実験や調査によって検証しようとしている班が見られました。仮説の設定や実験・調査による検証には、多くの苦労があったと思います。この経験を高校での「課題研究」や「探究活動」に活かしてほしいと思います。